

今後の地域保健体制に関する全国保健所調査

《回答にあたっての注意事項》

- ・クリーム色のセルに回答を入力したり、選択肢番号を選んだりして回答してください。
- ・本調査は、入力式・選択式の間があります。
入力式の間は、クリーム色のセルに直接文字や数字を入力してください。
選択式の間は、単数回答の間と複数回答可の間があります。
単数回答の間は、クリーム色のセルにプルダウンから1つの選択肢番号を選択する方式です。
複数回答可の間は、該当する選択肢の右隣のクリーム色のセルにプルダウンから「○」等を選択する方式です。
複数回答可なので、該当するものいくつでも「○」を選択していただいて構いません。
- ・その他を選択した等、具体的な内容の入力を求められる場合には、選択肢番号の右のセル内に直接文字をご入力ください。
長文を入力するとセル内に一部表示されなくなることもありますが、そのまま問題ありません。

貴保健所について

Q 1～Q 5は、すべての保健所の方がお答えください。

Q 1

保健所名

(文字入力)

Q 2

所在都道府県

(文字入力)

Q 3

所管市町村数

(数字入力)

※市区型保健所は1とご入力ください。

Q 4

設置主体

(単数回答)

1. 都道府県
2. 政令指定都市
3. 中核市、保健所政令市
4. 特別区

Q 5

管内人口

(単数回答)

1. 10万人未満
2. 10万人以上20万人未満
3. 20万人以上30万人未満
4. 30万人以上50万人未満
5. 50万人以上100万人未満
6. 100万人以上

Q 6は、都道府県型保健所の方のみお答えください。

Q 6

保健所の行政組織上の位置づけについてお答えください。

(単数回答)

1. 単独設置
2. 総合事務所方式
(例:保健と福祉、または環境等との統合組織)
3. 地方振興局の内部組織または出先機関
4. その他

⇒その他

Q 7は、市区型保健所の方のみお答えください。

Q 7

保健所の位置づけについてお答えください。

(単数回答)

①保健所の行政組織上の位置づけ

1. 単独の部局
2. 保健部局内の一部
3. その他

⇒その他

(単数回答)

②保健所長は議会の本会議に理事者として出席しますか。

1. 出席する
2. 出席しない

※危機管理時等必要時のみの出席は除く

(単数回答)

③保健所長は、所属長として職員の人事評価者となっていますか。いいえの場合は、評価者をご入力ください。

1. はい
2. いいえ

⇒評価者

A 人材確保・資質向上について

1 人材確保について

A 1 は、すべての保健所の方がお答えください。

人材の確保には、必要な定数の確保と、定数等に基づく採用・配置の確保とありますが、ここでは後者についてうかがいます。

A 1 次の専門職は、定数的に定数を確保できていますか。

- (単数回答) ①医師
1. はい
2. いいえ
3. 定数がない

- (単数回答) ②保健師
1. はい
2. いいえ
3. 定数がない

- (単数回答) ③薬剤師
1. はい
2. いいえ
3. 定数がない

- (単数回答) ④獣医師
1. はい
2. いいえ
3. 定数がない

- (文字入力) ⑤その他に定数が確保できていない職種がありましたら、ご入力ください。

A 2 は、すべての保健所の方がお答えください。

A 2 定数を充足させるために、貴保健所ではどのような取り組みを行っていますか。

- (複数回答可)
1. 実習受入や講義実施等の学生への働きかけ
 2. 保健所の情報発信・広報
 3. つながりのある有資格者への個別フォロー
 4. 本庁との連携・調整
 5. その他
 6. 特になし

⇒その他

A 2-1 は、A 2 で「1～5. 取り組みを行っている」と回答した保健所の方のみお答えください。

A 2-1 特徴的な取り組みを行っている場合には、具体的にご入力ください。

(文字入力)

2 資質向上について

A 3は、すべての保健所の方がお答えください。

A 3 各専門職の資質向上のために、行っている取り組み、または今後行いたい取り組みは何ですか。

(複数回答可)

1. 外部の研修会受講
2. 保健所での研修会実施
3. OJT
4. 他組織職員等との情報交換
5. 人材育成担当の設置・指名
6. 自己学習の奨励
7. 研究会・学会等参加奨励
8. 人材育成計画・マニュアル等の策定
9. 人材育成を意識した人事希望
10. その他

⇒その他

--

A 3-1は、A 3で「1～10. 行っている、または行いたい取り組みがある」と回答した保健所の方のみお答えください。

A 3-1 特徴的な取り組みを行っている場合には、具体的にご入力ください。

(文字入力)

--

A 3-2は、A 3で「1～10. 行っている、または行いたい取り組みがある」と回答した保健所の方のみお答えください。

A 3-2 A 3で選んだ取り組みのうち、最も力を入れたい取り組みはどれですか。

(単数回答)

1. 外部の研修会受講
2. 保健所での研修会実施
3. OJT
4. 他組織職員等との情報交換
5. 人材育成担当の設置・指名
6. 自己学習の奨励
7. 研究会・学会等参加奨励
8. 人材育成計画・マニュアル等の策定
9. 人材育成を意識した人事希望
10. その他

--

⇒その他

--

A 4は、すべての保健所の方がお答えください。

A 4 それらを実行するためには、どのような条件が必要と考えますか。

(複数回答可)

1. 予算
2. 担当する人員
3. 本庁や所内の理解
4. 施設やICT等設備の整備
5. 業務の余裕
6. 住民の理解
7. その他

⇒その他

--

B 行政内の連携について

B 1 は、すべての保健所の方がお答えください。

B 1

保健所管内で特有の、または突発的な健康問題についての対応・事業を行うために、保健所（他事務所との統合組織の場合は、組織で）の裁量で使用できる予算がありますか。

- (単数回答)
1. ある
 2. ない

B 1-1 は、B 1 で「1. ある」と回答した保健所の方のみお答えください。

B 1-1

その予算は、年間どの程度ですか。
保健所の特定の事業に使用する経費を予算要求したものではなく、用途を保健所で決定できるもので、庁舎管理や消耗品等、例年定常的に必要なものを差しひいた金額についてお答えください。概数で結構です。

(数字入力)

円程度

B 2①・B 3 は、すべての保健所の方がお答えください。B 2②は、都道府県型保健所の方のみお答えください。

B 2

保健所の主要な活動内容や活動方針について、保健所長あるいは保健所幹部から市町村長（市区型保健所の場合は設置自治体の長）や市町村幹部に説明することはありますか。管内の最も一般的な市町村での実績ベースでお答えください。

(単数回答) ①市町村長（市区型保健所の場合は、設置自治体の長）へ

1. しばしばある（年複数回）
2. 年1回程度はある
3. 必要時に説明する
4. ない（本庁対応等）

(単数回答) ②市町村課長へ（都道府県型保健所の方のみお答えください）

1. しばしばある（年複数回）
2. 年1回程度はある
3. 必要時に説明する
4. ない（本庁対応等）

B 3

保健所と管内市町村（市区型保健所の場合は設置自治体内）の担当者間でよく連絡を取っていますか。管内の最も一般的な市町村を想定してお答えください。

- (単数回答)
1. 情報交換等を含め、よく連絡を取っている
 2. 業務上必要な連絡は取っている
 3. あまり連絡を取っていない
 4. ほとんど連絡を取っていない

B 4 は、都道府県型保健所の方のみお答えください。

B 4

管内市町村間の調整を行っていますか。

(複数回答可) ①事業の進め方について管内で歩調を合わせるため（国保、健康増進、生活習慣病対策、母子保健等）

1. 定期的に行っている
2. 市町村の求めがなくとも、保健所が必要と判断したときには行っている
3. 市町村から求めがあった場合のみには行っている
4. 行っていない

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

(複数回答可) ②広域に関わる関係機関（医療機関、福祉機関等）との連携を図るため

1. 定期的に行っている
2. 市町村の求めがなくとも、保健所が必要と判断したときには行っている
3. 市町村から求めがあった場合のみには行っている
4. 行っていない

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

C 自助・共助・啓発・コミュニケーションについて

C 1～C 2は、すべての保健所の方がお答えください。

C 1 平時の保健所から住民に向けた情報発信は、どのような方法で行っていますか。

(複数回答可)

1. 自治体（都道府県や市）の広報誌、チラシ、ホームページ等
2. 保健所が独自で作っているチラシ、ホームページ等
3. 自治体の公式SNS（Facebook・LINE・Twitter等）
4. その他

⇒その他

--

C 2

保健所事業の周知や健康危機発生時のリスクコミュニケーションにも通じる情報発信を積極的に行うために必要なことは、何だと思えますか。

(複数回答可)

1. 保健所に情報発信のためのツールを設置すること
2. 保健所内に広報の担当者を設置・指名すること
3. 本庁や管轄自治体の広報や危機管理等の他の部署の協力を得ること
4. 地域の関連団体や住民組織の協力を得ること
5. その他

⇒その他

--

C 2-1は、C 2で「1～5. 必要なことがある」と回答した保健所の方のみお答えください。

C 2-1 具体例について、ご入力ください。

(文字入力)

--

D 精神保健福祉について

1 具体的な保健所活動の一例として精神保健福祉活動について

D 1～D 3は、すべての保健所の方がお答えください。

D 1

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」で示されている保健・医療・福祉関係者による「協議の場」について、貴保健所における設置及び活用の状況を教えてください。

(単数回答)

1. 既存の会議体を「協議の場」として設置した
2. 既存の会議体に、新たに部会等を追加して対応した
3. 新規に会議体を立ち上げた
4. 「協議の場」を設置していない
5. その他

⇒その他

D 2

貴保健所では、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」のどの事業に取り組んでいますか。

(複数回答可)

1. 普及啓発
2. 家族支援
3. 住まいの確保
4. ぴあサポートの活用
5. アウトリーチ支援
6. 退院後の医療等継続支援
7. 研修
8. 地域移行
9. 構築状況の評価
10. その他
11. いずれも該当しない

⇒その他

D 3

D 2の事業の中で貴保健所が重要だと考える事業を重要な順に3つ選び、その事業の選択肢番号をご回答ください。

※D 2の選択肢からお選びください。 ※取り組んでいない事業（D 2で選ばなかった事業）を選んでも構いません。

(単数回答)

最も重要だと考える事業

⇒その他

(単数回答)

2番目に重要だと考える事業

⇒その他

(単数回答)

3番目に重要だと考える事業

⇒その他

2 貴保健所における精神保健福祉業務の夜間対応状況について

D 4は、すべての保健所の方がお答えください。

D 4

通報対応等、夜間対応を行っていますか。

(単数回答)

1. すべて保健所で行っている
2. 一部委託や分担で行っている
3. 保健所では行っていない

D4-1~D4-5は、D4で「1~2. 行っている」と回答した保健所の方のみお答えください。

D4-1 夜間対応は、何人の保健所所属職員で回していますか。通報等があった場合に、現場に行って対応する業務についてご回答ください。
(数字入力)

	<input type="text"/>	人
--	----------------------	---

D4-2 夜間対応の手当（待機料及び出勤時の手当）はいくらですか。手当が発生しない場合は、0円とご入力ください。

待機料	(数字入力)	<input type="text"/>	円
出勤時の手当（1時間あたり）	(数字入力)	<input type="text"/>	円
出勤時の手当（1回あたり）	(数字入力)	<input type="text"/>	円
その他	(文字入力)	<input type="text"/>	

D4-3 夜間対応の翌日を休みや勤務時間短縮とするルールはありますか。
(単数回答)

1. ある 2. ない

<input type="text"/>

D4-4 夜間対応を行った翌日の勤務のおおかたの実態を教えてください。
(単数回答)

1. 夜間の出勤の有無に関わらず、翌日は休み
2. 夜間の出勤があった場合のみ、翌日は休み
3. 夜間の出勤があった場合は、翌日勤務時間短縮
4. 夜間の出勤の有無に関わらず、翌日も通常勤務
5. その他

<input type="text"/>	⇒その他	<input type="text"/>
----------------------	------	----------------------

D4-5 勤務時間への配慮や手当等は、精神保健福祉業務と他業務とのバランスが図られていますか。最も近いと思われる選択肢を1つお選びください。
(単数回答)

1. 原則同一である
2. バランスを図る方向性にある
3. それぞれ規定されている

<input type="text"/>

D5～D9は、すべての保健所の方がお答えください。

D5 精神保健福祉の通報対応等の365日24時間対応の業務は、どの機関で対応すれば良いと思いますか。

(単数回答)

1. 保健所
2. 保健所以外

⇒具体例

D6 精神障害者等への差別や偏見を解消するための取り組みを行っていますか。

(複数回答可)

1. 広報等への記載
2. ホームページやSNS等による発信
3. 学校教育と連携した取り組み
4. 事業所と連携した取り組み
5. その他
6. 特になし

⇒その他

D7 通報対応で入院した患者のその後の再入院率、または通報対応で入院した患者の過去に入院歴のある割合等の定量的な算定や年次推移の分析を行っていますか。

(単数回答)

1. 行っている
2. 行っていない

D8 精神保健福祉に関わる管内の多様な関係機関が情報交換を行う場はありますか。

(単数回答)

1. ある
2. ない

D9 精神保健福祉に関する業務は、保健所と市町村保健センター等の役割分担を明確にするか、一定の業務は両者とも行う等重層的に行うか、どのような形が良いですか。最もお考えに近いと思われる選択肢を1つお選びください。

(単数回答)

1. 明確に分担
2. やや明確に分担
3. やや重層的
4. 重層的

E 地域支援事業・地域包括ケアについて

1 都道府県型保健所について

E 1 は、都道府県型保健所の方のみお答えください。

E 1 貴保健所は管内市町村の地域支援事業に関わっていますか。

(単数回答)

1. はい 2. いいえ

E 1-1 は、E 1 で「1. はい」と回答した保健所の方のみお答えください。

E 1-1 貴保健所の関わり方はどのようなものですか。

(単数回答) ①都道府県庁が開催する市区町村向けの地域支援事業の研修会に、保健所担当者が参加している

1. はい 2. いいえ

(単数回答) ②管内市町村を対象に地域支援事業に関する会議を開催している

1. はい 2. いいえ

(単数回答) ③地域支援事業に含まれる各種事業（一般介護予防事業、認知症施策等）の目標を管内市町村と共有していないが、市町村が実践する過程を支援している

1. はい 2. いいえ

(単数回答) ④地域支援事業に含まれる各種事業（一般介護予防事業、認知症施策等）の目標を管内市町村と共有した上で、市町村が実践する過程を支援している

1. はい 2. いいえ

(単数回答) ⑤地域支援事業全体の目標を管内市町村と共有した上で、市町村が実践する過程を支援している

1. はい 2. いいえ

(単数回答) ⑥都道府県が設定した地域支援事業全体の目標を保健所・管内市町村と共有し、保健所が市町村を支援している

1. はい 2. いいえ

2 市区型保健所について

E 2～E 4 は、市区型保健所の方のみお答えください。

E 2 管内の地域支援事業は、市区行政のどの部署が担っていますか。

(単数回答)

1. 主に市区行政の他部署が担当している
2. 主に保健所が担当している

E 3 地域支援事業に含まれる各種事業の目標を設定していますか。

(単数回答)

1. はい 2. いいえ

E 4 地域支援事業全体の目標を設定していますか。

(単数回答)

1. はい 2. いいえ

3 新型コロナウイルス感染症対応における医療・介護連携について

E 5～E 6は、すべての保健所の方がお答えください。

E 5

貴保健所の管内で、新型コロナウイルスに感染した自宅療養者数が最も多かった時点の人数を教えてください。人数には施設療養者数を含めてください。

(単数回答)

1. なし
2. 100人未満
3. 100人以上1,000人未満
4. 1,000人以上

⇒概算
人数

人 (数字入力)

⇒その
時期

頃 (文字入力)

※時期は、「令和●年●月」の形でご回答ください。

E 6

貴保健所は、新型コロナウイルスに感染した自宅療養者への往診等の医療体制について、保健所として何らかの対策を講じましたか。

(単数回答)

1. はい
2. いいえ

E 6-1は、E 6で「1. はい」と回答した保健所の方のみお答えください。

E 6-1

どのような対策を講じましたか。

(複数回答可)

1. 通常の在宅医療を実施している医師に依頼して、往診をしてもらった
2. 新たにコロナの往診体制を構築した
3. 往診を実施する民間グループ（例：ファーストドクター等）に依頼した
4. その他

⇒その他

E 6-2は、E 6で「2. いいえ」と回答した保健所の方のみお答えください。

E 6-2

対策を講じなかった理由は、何ですか。

(複数回答可)

1. 都道府県が行うべきだと思うため
2. 医療体制づくりは保健所の主たる業務でないため
3. 管内の医療機関による往診に期待ができなかったため
4. 在宅医療が必要な自宅療養者がいなかったため
5. その他

⇒その他

E 7は、すべての保健所の方がお答えください。

E 7

貴保健所は、新型コロナウイルスに感染した自宅療養者への介護保険サービス（訪問介護等）の提供体制について、保健所として何らかの対策を講じましたか。

(単数回答)

1. はい
2. いいえ

E 7-1は、E 7で「1. はい」と回答した保健所の方のみお答えください。

E 7-1

どのような対策を講じましたか。

(複数回答可)

1. 通常の在宅介護を実施している事業所に依頼して、サービス提供をしてもらった
2. 訪問看護が在宅介護を担った
3. 新たにコロナの介護サービス体制を構築した
4. その他

⇒その他

E7-2は、E7で「2. いいえ」と回答した保健所の方のみお答えください。

E7-2 対策を講じなかった理由は、何ですか。

(複数回答可)

1. 都道府県が行うべきだと思うため
2. 保健所の主たる業務でないため
3. 介護保険事業所が自発的にサービス提供をしていたため
4. 管内の介護事業所に期待ができなかったため
5. 市町村の役割であるため
6. 介護保険サービスの必要な自宅療養者がいなかったため
7. その他

⇒その他

--

E8は、E6・E7のいずれかで「1. はい」と回答した保健所の方のみお答えください。

E8 その連携調整は、どの組織・職種が担いましたか。

(複数回答可)

1. 保健所
2. 都道府県
3. ケアマネジャー
4. 郡市区医師会
5. 看護協会
6. 訪問看護ステーション
7. その他

⇒その他

--

F 健康危機管理体制について

F 1～F 7は、すべての保健所の方がお答えください。

F 1 貴保健所では、健康危機管理に関する下記のマニュアルや業務継続計画（BCP）等を策定していますか。

（複数回答可）

1. オールハザードの（総合的な）健康危機管理
2. 自然災害（地震、水害等）
3. 新型インフルエンザ等感染症
4. 新型コロナウイルス感染症
5. 食中毒
6. その他
7. 策定していない

⇒その他

F 2 新型コロナウイルス感染症対策の今までの過程において、国の方針に沿って対応しましたか、設置自治体や保健所の方針で独自の工夫を行いましたか。

（複数回答可）

1. 国の方針で対応した
2. 感染状況に応じて自治体で工夫した方針で対応した
3. 感染状況に応じて保健所で工夫した方針で対応した
4. その他

⇒その他

F 3 コロナ対応を経験したことから、病院機能の見直しや、日々の感染症診療の分担などの地域の医療との調整について、今後、中長期的に考えて、どこが担うのが良いと思いますか。

（単数回答）

1. 保健所が主として担う
2. 本庁が主として担う
3. 両者とも同じくらい担う
4. その他

⇒その他

F 4 住民への直接的な業務と、体制づくり等の間接的な業務の比率について、コロナ後の「保健所活動」は、コロナ前と比べてどのようにすべきと思いますか。

（単数回答）

1. 直接的な業務を増やすべき
2. 間接的な業務を増やすべき
3. 同じくらい
4. その他

⇒その他

F 5 健康危機事象が発生した際、保健所固有の業務が増大する場合、専門職種の応援体制は、どのような対応になっていますか。

（複数回答可）

1. 自治体内（本庁部局や他保健所等）から専門職の応援を得る
2. 派遣職員や外部委託を活用し、対応する
3. 年度途中でも正規の職員数を増やして、対応する
4. その他

⇒その他

F 6 行政職員以外の地域の専門職や非専門職などについて、感染症パンデミックや災害等の今後の健康危機に向けて、平常時から確保、育成することについて、保健所の役割をどのように思いますか。

（単数回答）

1. 積極的に確保・育成する
2. 必要に応じて確保・育成する
3. あまり役割はない
4. その他

⇒その他

F 7

保健所が夜間休日を含めた健康危機管理対応を行う上で、今後改善した方が良いことはありますか。

(複数回答可)

1. 担当する人員の増強
2. 負担が重い業務の担当者は短期間に人事異動
3. 代休取得等の徹底
4. 施設・設備の整備
5. その他
6. 特になし

⇒その
内容

⇒その他

G 今後の保健所活動について

G1～G4は、すべての保健所の方がお答えください。

G1 健康格差の縮小に向けての保健所の役割は、今後どのようにすべきと思いますか。

(単数回答)

1. 大きくする
2. 小さくする
3. これまでと同じくらい
4. その他

⇒その他

G2 住民のソーシャルキャピタルの醸成に向けての保健所の役割は、今後どのようにすべきと思いますか。

(単数回答)

1. 大きくする
2. 小さくする
3. これまでと同じくらい
4. その他

⇒その他

G3 地域の公的機関、非営利機関、民間機関等の連携強化に向けての保健所の役割は、今後どのようにすべきと思いますか。

(単数回答)

1. 大きくする
2. 小さくする
3. これまでと同じくらい
4. その他

⇒その他

G4 貴保健所では、下記のような活動を行っている中間支援組織（NPOや住民団体等の支援を行う組織）との連携はありますか。広域的に活動している中間支援組織との連携も含まれます。

(複数回答可)

1. 災害対応
2. 健康づくり
3. 介護予防
4. 地域づくり
5. その他
6. 特にない

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

⇒その他

G4-1は、G4で「1～5. 中間支援組織との連携がある」と回答した保健所の方のみお答えください。

G4-1 連携している中間支援組織の名称をお書きください。多数ある場合は、主なもののみで結構です。

(文字入力)

G5は、すべての保健所の方がお答えください。

G5 貴保健所では、今後多くの保健所で実施すると良いと思われる特徴的な取り組みを行っていますか。例えば、目標設定をしながらの健康危機管理や、地域の多様な資源が協力し合う場の設定など、マネジメントのやり方に関するもの、事業展開に関するものなど含めてお考えください。

(単数回答)

1. 行っている
2. 行っていない

G5-1は、G5で「1. 行っている」と回答した保健所の方のみお答えください。

G5-1 その取り組み名を教えてください。

(文字入力)

⇒差し支えない範囲で資料を添付してください。

G 6は、すべての保健所の方がお答えください。

G 6

地域保健指針や、地域健康危機管理ガイドラインで改訂すべきこと、今後の地域保健のあり方について、またこの調査について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(文字入力)



これで調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

D 7、G 5 - 1 についての資料をご提供いただける場合は、メールへの添付をお願いいたします。